



関係者 各位

## 特別競技規則の変更(RC390 CUP)

- ◆ RC390 CUP の競技規則総則を削除する。  
(該当条文:2017 もてぎロードレース選手権 特別規則 第6章 第54条)
- ◆ 上記、特別規則 第6章 第54条を以下内容に変更する。  
以下、変更内容

発行: KTM390/250CUP 事務局

2017.2.13 改訂

### 《 2017 KTM 390/250CUP の競技規則 》

#### 総則

KTM JAPANは、Ready to Raceの理念に則り、KTMストリートユーザーが手軽に安全にレースを楽しめることを目的に、表題のレースを推進する。

このレースは、**2017MFJ国内競技規則**および各開催サーキットの特別規則に基づき、下記の各項に沿って開催される。

#### 1. 開催クラス

##### (1) KTM 390CUP

- ①ストッククラス (参加可能車両 RC390、390DUKE)
- ②カスタムクラス (参加可能車両 RC390、390DUKE)

##### (2) KTM 250CUP

- ① スtockクラス (参加可能車両 RC250、250DUKE)
- ②カスタムクラス (参加可能車両 RC250、250DUKE)

#### ※参加可能モデルについて。

2016年12月22日現在までに販売されている390/250DUKE、RC390/250に加え、2017にモデルチェンジとなる新型390/250DUKEの参戦を認める。新型モデル参加にあたり、実際の走行性能に大きな差が生じた場合はハンデをつける場合がある。

#### 2. 開催日・会場

- |        |           |                      |
|--------|-----------|----------------------|
| ■4/22  | 筑波サーキット   | (筑波ツーリスト・トロフィー併催)    |
| ■6/4   | 岡山国際サーキット | (モト・レヴオリューション併催)     |
| ■6/11  | ツインリンクもてぎ | (全日本ロードレース選手権併催)     |
| ■9/9   | 筑波ツーリスト   | (筑波ツーリスト・トロフィー選手権併催) |
| ■11/26 | SPA 直入    | (スーパーサンデーフェスタ併催)     |

### 3. 参加資格

#### (1) KTM 390/250 CUP

MFJ ロードレース フレッシュマン、国内、国際 のいずれかのライセンス所持者  
RC CUP 車での参戦は不可とする。

### 4. 参加方法

開催サーキットが定める申込期間内に各開催サーキット事務局へ参加を申し込む。参加料は各開催サーキットの規定による。

### 5. 車両規則

#### (1) 基本仕様

開催サーキットが定める大会特別規則および車両規則に準拠する。ただし、下記の事項については適用外とするが、飛散防止処置および脱落防止処置が完全になされていること。最終判断は各レースの車検長および競技監督による。

- ・ヘッドライト／テールライト／ウインカー／リフレクターの取り外し。
- ・セーフティーバー／センタースタンド／サイドスタンドの取り外し。
- ・同乗者用フットレスト／クラブレールの取り外し。
- ・ホーンの取り外し。

《下記には処置、装着が特に必要な項目を列挙する》

- ・全てのドレインプラグはワイヤーロックが必要。外部オイルフィルタースクリューおよびオイルフィルターボルトでオイルパンに進入するものについても、全て安全にワイヤーロックされていなければならない。オイル供給ホースは、完全ノーマル状態で差し支えないが、金属製のホースバンドで確実に固定し、ホースジョイントはフレア加工（抜け止め）の施してあるものの使用が望ましい。

※車両または当該部品の構造上、ワイヤーロックが不可能な場合に限って、液体漏れがないよう規定トルクで締め付けられている場合を例外とする。例：RC390のフロントフォークオイルドレンボルト

- ・クローズドブリーザーシステムには一切の加工・変更・取り外しをしてはならない。ただし、エアフィルターなどの該当機種専用のKTM/パワーパーツの使用は認められる。エアクリーナーボックスの下部に排出穴が開いている場合は、オイルが受けられるように塞がれていること。
- ・アンダートレイが装着されていること（ストッククラスは強く推奨）。これはエンジンオイルや冷却水が漏れた際に路面にこぼさず受け止められる物で、かつ、コーナーリング中のバンク角度も各サーキットの基本仕様に準拠したバンク角が確保されていること。

## (2) KTM 390/250 CUP

タイヤおよびエンジンオイルの銘柄に指定はないが、純正指定オイル MOTOREX の使用を強く推奨する。

※レインタイヤの使用は認められない。

### ①ストッククラス

完全ノーマル車であること。スプロケット、チェーンの交換は認められるが、その他の部品の交換は認められない。

走行性能に影響しないアクセサリ部品の装着は、KTM 純正パワーパーツに限ってこれを認める。一例は下記。

変更可・・・レバー類、レバーガード、シート、各所アルマイトカバーなど。

変更不可・・・マフラー、ステップ、サスペンションなど。

ただし、オイルキャッチを目的とするアンダートレイ(強く推奨)、スプロケットガードなど、各サーキットが車両規則に定める安全性向上のためのパーツの取り付けを、強く推奨する。

追記：車両保護を目的とするクラッシュパッドやスライダーに限って使用が認められる(クラッシュバーの使用は認められない)。

### ②カスタムクラス

改造の範囲 下記以降に示されている項目以外の改造・変更はできない(主として改造可能項目を記す)。

#### エンジンおよび補機

- ① インジェクションシステム(スロットルボディ、インジェクター、センサー)は車両出荷時のものとするが、セッティングの変更ならびに後付サブコンピューター(コントローラー)の取り付けが認められる。CPUの変更は不可。
- ②クローズドブリーザーシステムについては、基本仕様に準拠する。
- ③スパークプラグ、プラグキャップ、プラグコードの改造・変更は可。
- ④スロットルワイヤー、スロットルホルダー部(ラバーR・L含む)の改造・変更およびハイスロットルへの変更は可。
- ⑤クランクケースカバー(R、L)の改造・変更・追加は不可。
- ⑥オイルクーラーおよび関連部品の改造・変更ならびに着脱は不可。
- ⑦ラジエーター本体の加工、変更は不可。ラジエーターカバー、クーリングファン、サーモスタットの改造・変更ならびに着脱は可。

#### フレーム

ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加は可。フレーム及び付随するステーの切断は不可。

#### フロントサスペンション

エアージャック、オイル・スプリングの変更、内部構造変更・改造は可。イニシャルアジャスターの取り付けが認められるが、十分安全に配慮すること。

#### リアサスペンション

車体に一切の追加加工なしに取り付けることが可能なアフターパーツへの変更、スプリングの交換および車高調整を目的としたパーツ(リンク含む)の取り付けは可。改造・加工は認められるが、十分安全に配慮すること。

#### ステアリングステム、トップブリッジ

ステアリングステム、トップブリッジ等ステアリング関連部品の変更は可。必要でないステー類のカットは可。ダストシールの取り外しは可。スタビライザーでの補強は可。

## スイングアーム

車体に一切の加工なしに取り付けることが可能なアフターパーツへの交換は可。長さについてチェーンアジャスターの調整範囲を超えるホイールベースの変更は不可。

ステアリングダンパー 取付けは可。但しステアリングストッパーとの兼用は不可。

スプロケット、ドライブチェーン ファイナルレシオの変更は可(チェーンサイズ含む)。

ハンドルバー 改造・変更は可。

メーター類 改造・変更および取り外しは可(ケーブルを含む)。

## カウリング

着脱ならびに改造・変更は可。ただしスタンダード車のシルエットを変更することは不可。

## シート、シートカウル

改造・変更は可。ただしスタンダード車のシルエットを変更することは不可。

サイドカバー 取り外しは不可。

## フェンダー

前後とも改造・変更は可。ただしスタンダード車のシルエットを変更することは不可。

## ブレーキ

前後ともブレーキの変更が認められる。この項目で示すブレーキとは、入力部分(レバー、ペダル)からキャリパー(パッド、ライニング含む)までの構成部品、およびブレーキディスクまでを指す。

ワイヤーハーネス 改造・変更は可。

バッテリー 改造・変更および取り外しは可。

リミッター装置(イグナイターを含む) 改造・変更および取り外し可。

ステップ 改造・変更は可。

排気管 音量規定値以内のものに変更可。

## タイヤ

一般市販されていて通常のルートで購入できる一般公道用オンロードタイヤのみ使用可。但し、摩耗限度を超えた物、およびグルーピング・カッティングを施した物の使用は禁止される。

※レインタイヤの使用は認められない。

ホイール 変更が認められる。ホイール変更に伴うカラーの改造・変更およびキャリパーサポートの追加が認められる。

## 互換性

同メーカーの車両で一切の追加工無しで組み付け可能の単品、結合部品の交換は認められる。但し、コンペティションモデルの部品の使用は禁止される。

この項目は、改造範囲で認められていない場合にも適用となる

6. その他 車両規則の問い合わせについては、下記事務局に一元化する。

KTM 390/250CUP 事務局

株式会社ワックアモール 担当：和田

〒245-0013 神奈川県横浜市泉区中田東 1-24-13-1

e-mail asahina\_simo@ybb.ne.jp

TEL 045-443-5800 FAX 045-443-5801